

平成 22 年度

京都府公立大学法人決算

平成 23 年 6 月

京都府公立大学法人

平成22年度決算の概要

平成23年6月
京都府公立大学法人

1 はじめに

本法人は、平成20年4月に地方独立行政法人法に基づく公立大学法人となり、今回、第3期目の決算をとりまとめました。

この財務諸表は、企業会計を原則としつつ、公立大学法人特有の会計処理を加味した「地方独立行政法人会計基準」に基づき作成したものであり、本法人の財政状況や運営状況を示したものです。

2 財務諸表の概要について

(1) 貸借対照表（別紙1参照）

貸借対照表は、貸借対照日（3月31日）におけるすべての資産、負債及び資本を記載した本法人の財政状態を示す書類です。

① 資産の部<362億6千6百万円（対前期+2億3千6百万円）>

土地、建物、工具器具備品等の固定資産合計は250億5千百万円、現金及び預金や未収金等の流動資産合計は112億1千5百万円となっています。

② 負債の部<152億8千9百万円（対前期+9億1千3百万円）>

資産見返負債や京都府からの長期借入金等の固定負債合計は76億3千7百万円、寄附金債務や未払金等の流動負債合計は76億5千2百万円となっています。

③ 純資産の部<209億7千7百万円（対前期△6億7千6百万円）>

資本金（法人化に伴い京都府から出資された建物等）は225億7千6百万円であり、当期末処分利益を含む利益剰余金は30億6千2百万円となっています。

(2) 損益計算書（別紙2参照）

損益計算書は、一会計期間（4月1日から翌年3月31日までの一年間）属する全ての費用とこれに対応する収益を記載した本法人の目的別コストと収益構造を示す書類です。

① 経常費用<327億5千1百万円(対前期+5億1百万円)>

主な内訳は、教育経費5億2千7百万円、研究経費12億4千4百万円、診療経費117億5千5百万円、人件費175億9千8百万円等となっています。増加の主な原因としては診療経費・人件費の増があげられます。

② 経常収益<331億3千9百万円(対前期+7億4千1百万円)>

主な内訳は、府からの運営費交付金収益72億6千4百万円、授業料収益17億3千7百万円、附属病院収益は205億5千3百万円等となっています。

附属病院収益が大幅に伸びている反面、運営費交付金収益や寄附金等収益等が減少しています。

③ 経常利益<3億8千7百万円(対前期+2億4千万円)>

経常収益から経常費用を差し引いた差額として経常利益3億8千7百万円、また収益から費用を差し引いた差額として当期総利益2億4千7百万円となっています。

法人化後3か年が経過し、経営を意識した業務遂行が次第に習慣付いてきましたが、附属病院のこれまで以上の経営努力が成果として現れてきています。

なお、臨時損失と臨時利益については、過年度教職員人件費、徴収不能引当金等当該年度の臨時要素によるものです。

(3) その他の主要諸表

① キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書は、一会計期間における業務活動、投資活動及び財務活動の三つの区分に分けて資金収支の状況を示す書類です。

② 利益の処分に関する書類

利益の処分に関する書類は、損益計算上の利益の処分を明らかにするための書類です。

③ 行政サービス実施コスト計算書

行政サービス実施コスト計算書は、損益計算書上の費用に加え、法人運営上コストとなっているものを計上することにより、住民等が負担している全コストを明らかにするための書類です。

④ その他

上記の他に、貸借対照表や損益計算書等の内容を補足するものとして附属明細書などがあります。

貸借対照表(要約)

(単位:千円)

資産の部		固定資産		負債の部		固定負債	
		有形固定資産					
資産の部	固定資産	土地	57,745	負債の部	固定負債	資産見返負債	4,391,233
		建物	23,604,894			長期借入金	2,901,060
		工具器具備品	6,612,749			その他	344,931
		図書	1,451,645		固定負債計	7,637,225	
		その他	331,687		流動負債	運営費交付金債務	663,241
		減価償却費	△ 8,564,268			受託研究費等債務	328,055
		建設仮勘定	322,980			寄附金債務	1,711,280
		有形固定資産計	23,817,434			未払金	3,877,155
		無形固定資産等計	1,234,010			その他	1,072,307
	固定資産計	25,051,445	流動負債計	7,652,043			
	流動資産	現金及び預金	6,276,548	負債合計	15,289,268		
		未収学生納付金収入	2,434	純資産の部	資本金	22,576,220	
		未収附属病院収入	4,052,958		資本剰余金	359,011	
その他未収入金		433,153	損益外減価償却費		△ 5,020,150		
医薬品及び材料費		423,721	利益剰余金		3,062,261		
その他		26,349	純資産合計		20,977,342		
流動資産計	11,215,166	負債純資産 合計	36,266,611				
資産合計		36,266,611					

注: 数値については単位未満切捨てにより作成しているため、合計値が一致しない場合があります。

資産見返負債(貸借対照表)と資産見返負債戻入(損益計算書)について

地方独立行政法人における会計基準では、資産を取得する際、運営費交付金や寄附金などを財源として取得する場合に、財源をいったん「資産見返負債」に振り替え、固定資産の減価償却に応じて「資産見返負債」を「資産見返負債戻入」として収益に計上する会計処理をすることになっています。これによって費用・収益を均衡させることとなります。

特定資産の取扱いについて

設立時に府から現物出資を受けている有形固定資産については、収益を獲得することを目的としないものとして、「特定資産」としての指定を受けており、その償却資産については減価償却費を計上せず、「損益外減価償却費」を資本剰余金から差し引く会計処理をすることになっています。

◆主な財務指標

指標	算式	法人数値	備考
固定比率	固定資産／自己資本(純資産)	119.4%	低い方が望ましい
固定長期適合率	固定資産／(自己資本+固定負債)	87.5%	低い方が望ましい
流動比率	流動資産／流動負債	146.6%	高い方が望ましい
負債比率	負債／自己資本(純資産)	72.9%	低い方が望ましい
総負債比率	総負債／総資産	42.2%	低い方が望ましい

損益計算書(要約)

別紙2

(単位:千円)

経常費用	業務費	
	教育経費	527,984
	研究経費	1,244,445
	診療経費	11,755,427
	教育研究支援経費	152,078
	受託研究費等	658,892
	受託事業費等	7,203
	人件費	17,598,158
	業務費合計	31,944,191
	一般管理費	762,709
財務費用	44,318	
経常費用合計	32,751,219	

経常収益	運営費交付金収益	7,264,367
	授業料収益	1,737,801
	入学金収益	227,035
	検定料収益	55,790
	附属病院収益	20,553,505
	受託研究費等収益等	1,143,034
	寄附金収益	775,622
	資産見返負債戻入	1,024,055
	財産貸付収入等	357,909
	経常収益合計	33,139,123

経常利益	387,904
------	---------

臨時損失	149,039
------	---------

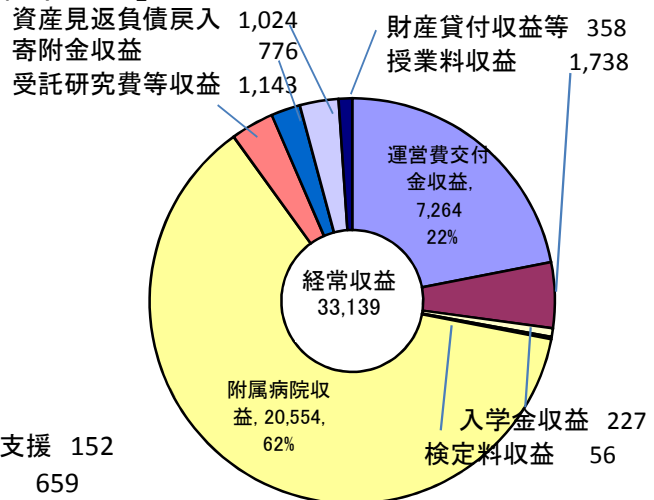
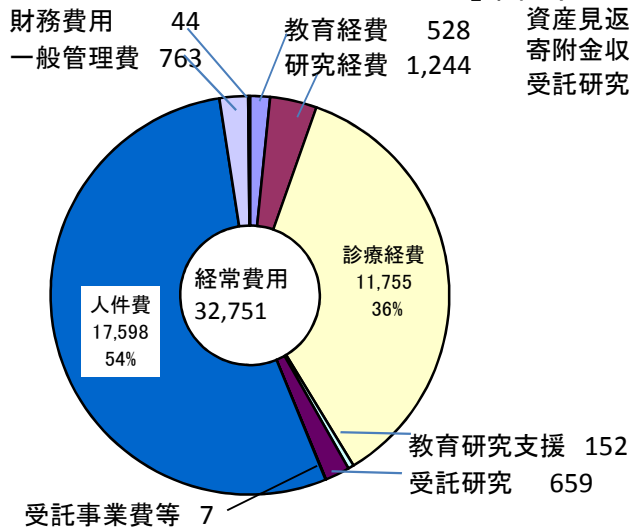
臨時利益	3,084
------	-------

当期純利益	241,949
-------	---------

目的積立金取崩額	5,806
----------	-------

当期総利益	247,755
-------	---------

【単位:百万円】



◆主な財務指標

指標	算式	法人数値	備考
運営交付金比率	運営交付金収益／経常収益	21.9%	低い方が望ましい
寄附金比率	寄附金収益／経常収益	2.3%	高い方が望ましい
人件費比率	人件費／経常収益	53.1%	低い方が望ましい
教育研究経費比率	(教育経費＋研究経費)／経常収益	5.3%	高い方が望ましい
一般管理経費比率	一般管理費／経常収益	2.3%	低い方が望ましい